

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	1									
1	I	1	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女参画まちづくりセミナー 6回 ・参画センター出前セミナー 6回 など	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施した。 学習研修事業(全53回) ・男女参画まちづくりセミナー 6回 ・参画センター出前セミナー 14回 など	3	予定通り事業が実施されたが、設定した目標参加者数が達成されていないため	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座 5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	男女共同参画推進室
	1										
2	I	1	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~27) ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23~27) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	3	予定通り事業が実施されたが、設定した目標参加者数が達成されていないため	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23~29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画推進室
	1										
3	I	1	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子50組	夏休み親子消費者教室の実施 (8月5日) 参加者:市内の小学生の親子37組90人	5	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計が約88%と高く、「次回も参加したい」という感想も多かった。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	地域政策課 くらし安全安心課
	1										
4	I	1	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を開催(9月25日)参加者数96人	4	多重債務に関する相談は減少傾向にある中、対策よりも未然防止を考えた講演内容にした結果、参加者にわかりやすいものとなり、アンケート結果からも「よかった」が85%と高かった。参加者数は前年度をやや下回った。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	地域政策課 くらし安全安心課
	1										

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	1	(1)									
5	I	1	(1)	消費者ウィーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウィークに、各種啓発事業を実施する。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「こけ枝の笑って学ぶ消費者トラブル」 平成26年5月28日(水)13:30~15:00 市役所13階大会議室	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 テーマ「こけ枝の笑って学ぶ消費者トラブル」 平成26年5月28日(水) 市役所13階大会議室	5	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計が約82%と、昨年度より満足度が6%増加した。	・暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート ・消費者月間事業記念講演会 平成27年5月28日(水) 市役所13階大会議室	
6	I	1	(1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしを見直す市民集い運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・リフォームファッションショー・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)を行う。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成26年5月24日・25日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・リフォームファッションショー・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	5	事業実施時に行ったアンケート結果から「とても楽しかった」「まあまあ楽しかった」の合計が約82%と、昨年度より満足度が6%増加した。	「消費者ウィーク事業」と同時開催 平成27年5月23日・24日 イオンモール高松1階シーコート 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	地域政策課 くらし安全安心課
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚、消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会に講座の中で「寸劇」コーナーに参加してもらうことで、出前講座が各地域に広がるよう努める。	実施回数:9回(コミュニティセンター、老人会等)	4	参加者数では昨年度より増加したものの、講座実施回数は減少したため。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会にも「寸劇」コーナーを一緒に行う等により講座に参加してもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	
8	I	1	(1)	ひとり親家庭就労自立支援セミナー	市	ひとり親を対象に、早期就職に必要な知識・技術等を習得できるよう、きめ細やかで特色ある講座を開設する。	全12回(6回×2期、各参加人員20名)	上半期、下半期で開催予定であったが、各期ともに申込者が少数であったため、中止とした。	1	未実施のため。	事業開始後、三年を迎え、年々申込者が減少傾向にあったことから、事業を見直し、平成27年度は開催しないこととした。	こども家庭課
9	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	これから犬や猫を飼おうと考えている市民に対する講習会を、受講者の都合に配慮し、個別に開催する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底と中心に講習会を保健所で実施した。 実施回数:93回 受講人数:205人	5	前年度より大幅に実施回数及び受講人数が増え、譲渡及び動物愛護や適正飼養の普及啓発を推進できた。	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	生活衛生課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	II	(1)									
10	I		(1)	犬の飼い方教室	市	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	犬を飼い始めた市民を対象に、犬の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー等について講習会を開催する。	基本的な飼い方、しつけ方、健康管理、お悩み相談等について、より地域から情報発信できるように、各コミュニティセンターで開催した。 実施回数:3回 受講人数:21人	4	前年度より受講人数が増え、開催場所も保健所からコミュニティセンターとし、より参加しやすい環境にした。	開催するコミュニティセンターを増やし、より参加を促す。また、内容を細分化し、飼い主が知りたい情報を選択、提供できるよう、検討する。	生活衛生課
11	I		(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対し、関係機関等と連携しながら支援するとともに、国のひきこもり対策推進実施要領を踏まえ、ひきこもりサポーター派遣事業の実施に向け、関係機関と連携して検討する。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行った。今後、対象者の把握を行い、支援を必要としている人に対応できるよう努める。 家庭訪問、来所・電話相談件数:72件	3	相談件数は減少したが、相談に対して、県ひきこもり支援センターと連携して、家族支援等を行った。	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対し、県ひきこもり支援センター等関係機関と連携しながら支援するとともに、国のひきこもり対策推進実施要領を踏まえ、ひきこもりサポーター派遣事業を実施する。	保健センター
12	I II	1 2	(1) (2)	NPO等の活用による環境学習活動	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	25年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施した。また、環境活動団体の活動状況を発表する場を設けるとともに、新たな団体等より協力を得られた。	5	新たな環境活動団体等に呼びかけを行った結果、NPO等、協力団体が増えた。	26年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境保全推進課
13	I I	1 5	(1) (3)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座・音楽教室・英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。	パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、自力整体や花ひらで作る3Dアート講座等、多種多様な講座を開催した。 パソコン講座受講者数:884人 音楽コース受講者数:475人 その他講座・教室受講者数:468人	3	昨年度に比べ、パソコン講座等の受講者数が減少する中、新企画である「花ひらで作る3Dアート講座」を始めとする多種多様な教室の参加者が増加したものの、全体の受講者数は減少し、目標を達成できなかった。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座・音楽教室・英会話教室等の各種文化教養講座を開催する。	産業振興課
14	I		(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	1月22日、23日の2日間開催。就労・職業相談や、企業誘致優遇制度による指定企業紹介コーナーを設置し、企業のPRを行った。 来場者数:384人 相談件数:41件	3	就労等の相談件数は減少したものの、来場者数は増加したことから、就労希望者等が抱える悩みなどの解決に向け、幅広くサポートを行う各機関の周知が図られたため。	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
15	I	1	(1)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	開催日:平成27年1月11日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:約4,000人	開催日:平成27年1月10日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:4,313人 出席者数:2,709人 出席率:62.8%	4	開催日を日曜日に変更したことで、出席率は2000年以降の成人式で最高となったため。	開催日:平成28年1月10日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:約4,000人	
16	I	1	(1)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録者数 50人	年間8回実施(5/25、6/29、7/20、9/28、10/26、11/23、1/25、2/22) 受講生登録数 34人 受講生参加者数 190人 ボランティア登録数 73人 受講生参加者数 185人 場所:生涯学習センター他 内容:コミュニケーションゲーム、タブレット講座等	4	事業を無事実施でき、受講生の登録数は予定数にはとどかなかったものの、ボランティアの登録数は予定数を超えたため。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録者数 80人	生涯学習課
17	I	1	(1)	生涯学習カレッジ事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,049人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を維持する。	
18	I	1	(1)	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数106,500人を目指す。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数100,183人であった。	4	講座参加人数は、目標に達しなかった。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数106,800人を目指す。	生涯学習センター
19	I	1	(1)	高齢者教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数22,800人を目指す。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数21,821人であった。	4	講座参加人数は、目標に達しなかった。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数24,000人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	1	(1)									
20	I	1	(1)	女性教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供。講座参加人数12,500人を目指す。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供。講座参加人数12,837人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供。講座参加人数12,700人を目指す。	生涯学習センター
21	I	1	(1)	本のソムリエ派遣事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。(6回派遣)	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図った。(1回派遣)	2	目標の派遣回数に届かなかった。更なるPRが必要である。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。(7回派遣) H27は希望者が増えるようチラシやHP等を利用し、広報活動に力を入れていく。	中央図書館
22	I	1	(1)	交通安全教室(再掲) (No. 108)								交通安全対策室 交通安全課
23	I	1	(1)	市民グループ学習支援事業(再掲) (No. 161)								生涯学習課
24	I	1	(2)	人権・同和問題啓発活動事業	市、コミュニティセンター、高松市人権啓発推進協議会(26年度以降、人権尊重都市たかまつ市民会議)	市民の人権意識の普及・高揚を図るため、啓発物品等の作成・配布及び人権フェスティバル、市民のつどい、ハンセン病を正しく理解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ポスター700枚、ポケットティッシュ10,000袋、ステッカー200枚、リーフレット12,500部 ○人権フェスティバルの開催 6月1日 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 7月14日～18日 ○人権を守る市民のつどいの開催 1月17日 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 2月26日 ○人権の花運動 小学校5校配置	5	○計画どおり実施できた。 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展の開催など、新たな取組みを行った。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会の開催 年1回 ○人権の花運動	人権啓発課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	1	(2)									
25	I	1	(2)	地域における人権啓発推進事業	市、地域コミュニティ協議会	各地域コミュニティ協議会で選任された人権啓発推進員が、生涯学習推進員と協力して、地域の生涯学習における人権に関する講座の企画・運営及び広報活動を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 10月14日、2月26日 ○各地域コミュニティ協議会の人権推進員による啓発事業の実施	4	○計画どおり実施できたが、更なる取組みによる成果向上の余地がある。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施されている人権に関する講座の企画・運営及び広報活動	
26	I	1	(2)	人権・同和問題指導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくりや人権に配慮したやさしい企業づくりを推進するため、市内の事業所の代表者や人権啓発等を担当する職員を対象に、指導者研修講座を開催する。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(3日)	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 11月11・20・28日	5	○計画どおり実施できた。	○人権・同和問題指導者研修講座の開催 年1回(2日)	人権啓発課
27	I	1	(2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平和を語るつどい・映画祭、空襲写真展、戦争遺品展、講演会等を開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展を開催した。 ○平和記念だよりを発行した。(4回)	5	計画通り事業を実施したことにより、市民の平和意識の啓発・普及につながった。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映画祭、高松空襲写真展、高松空襲70周年事業、高松市戦争遺品展、教職員のための平和教育講演会、収蔵品巡回展の開催 ○平和記念だよりの発行	
28	I	1	(2)	許可・登録業者人権研修講座	市	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	11月17日に人権研修講座を開催。講師を招き「人にやさしい企業でありたい-企業と個人情報-」について講話等を行った。 受講者数:294人 ・3月27日付けで人権啓発に関するパンフレットを配布した。 配布企業者数:1,576社	5	受講者数が目標値を上回り、人権・同和問題に対する企業の意識が一層高まっていると考えられるため。	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	産業振興課
29	I	1	(2)	多文化共生事業	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、毎月第2金曜日に高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施する外国人向けイベントや日常生活、行政、地域などに関する情報等を提供するため、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	毎月第2金曜日に英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信し、外国人住民への情報提供を行うことができた。	5	毎月第2金曜日に「多言語メルマガ もっと高松」を配信できており、英語・中国語のメルマガジンへの登録者数も増加しているため。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、毎月第2金曜日に高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施する外国人向けイベントや日常生活、行政、地域などに関する情報等を提供するため、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	都市交流室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	1	(2)									
30	I	1	(2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	(公財)香川国際交流協会と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	(公財)香川県国際交流協会等との共催で、平成26年9月21日(日)に香川国際交流会館(アイバル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2014」を開催。約3,900人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	5	目標を上回る参加者数であったため。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	都市交流室
31	I	1	(2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	51コミュニティセンターで開催	延べ46コミュニティセンターで開催 延べ2,137名参加	4	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。	26年度未開催のコミュニティセンターにも開催依頼を積極的に行い、52コミュニティセンターで開催する。	人権教育課
32	I	1	(2)	男女共同参画センター学習(再掲) (No. 1)								男女共同参画推進室
33	I	1	(2)	男女共同参画週間事業(再掲) (No. 2)								男女共同参画推進室
34	I	1	(2)	みんなで人権を考える会(再掲) (No. 85)								人権教育課
35	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会(補助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性化・地域振興、世界への情報発信のため、3年毎に国際的な芸術祭として「瀬戸内国際芸術祭」を開催する。	第3回瀬戸内国際芸術祭開催に向け、県や関係町と連携して準備を進めるとともに、女木島、男木島、大島、高松港周辺に設置している27作品に係る管理運営を行う。	第3回瀬戸内国際芸術祭開催に向け、県や関係町と連携して準備を進めるとともに、女木島、男木島、大島、高松港周辺に設置している27作品に係る管理運営を行った。 春:平成26年4月26日～5月6日 夏:平成26年7月19日～8月31日 秋:平成26年9月7日～11月16日 女木島:6,776 男木島:4,123 大島:171	4	女木島、男木島、大島の各作品については、冬場を除いてはコンスタントに入場者数が確保できており、ARTSETOUCHIのファン層への浸透がうかがえる。	—	文化芸術振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
36	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民文化祭「アーツフェスタたかまつ」運営委員会(補助)	市民企画提案型事業「アーツフェスタたかまつ」と、各地区の特性を生かした地区文化祭の開催を支援する。	平成26年度においてもアーツフェスタ2014を平成26年5月31日(土)から7月6日(日)まで開催。	開催団体:16 集客数:8,806人 例年参加している団体が一部参加しなかったことにより、観覧者数は前年度より減少しているが、文化芸術団体の発表の場と相互交流の機会を提供することができた。	4	昨年度に比べて3日間、開催日数が増えたことにより、市民が文化芸術に触れる機会を広げることができた。	平成27年度はアーツフェスタ2015を平成27年5月30日(土)から7月12日(日)まで開催。	
37	I	1	(3)	デリバリーアーツ事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	平成26年9月から平成27年2月までの開催期間で、メニューをアフリカ伝統音楽演奏会をプラスバンド演奏会に変更し新たなメニューで実施する。	全16回開催 定住自立圏構想として圏域町に呼びかけ、23年度の直島町に続いて26年度は、さぬき市においても事業実施した。	3	過去に実施した団体等から、好評であるため再度実施したいとの要望があることなどから、参加者や協力団体の満足度は高い。	平成27年8月から平成28年3月までの開催期間で、落語、ジャズ演奏、太鼓演奏等6メニューで実施予定である。	文化芸術振興課
38	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業12事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業3事業を計画。	主催事業13事業、共催事業4事業、基金事業2事業を実施した。	4	前年度より実施数を増加させ、開館10周年記念事業として、市民参加の創造型企画提案事業を実施したため。	主催(補助)事業11事業、主催(独自)事業3事業、共催(補助)事業2事業を計画。	
39	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	平成25年度と同様の事業ではあるが、出演者の変更等内容も変化を加えて実施する。	街角に音楽をフェスティバルin高松 まちクラシックin高松 プラストリート ダンスフェスティバル 上記に4事業を開催。	5	前年度より、開催日数は減少したが、事業観覧者数は増加したため。	高松ミュージックブルーフェス 街クラシックin高松 高松プラストリート オータムジャム を開催する。	
40	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	実施回数7回程度を開催する。	実施回数20回、参加者数1693人	5	前年度と内容は同等のものであったが、来場者数は増加したため。	改修工事のため未実施	美術館美術課
41	I	1	(3) (1)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26~)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・鬼無町(桃太郎神社ほか)、十川東町(十河城跡ほか)など8箇所 市外・・・丸亀市(妙法寺ほか)など2箇所	ふるさと探訪を年間10回開催した。 (H26参加者合計1160名) 市内・・・鬼無町(桃太郎神社ほか)、十川東町(十河城跡ほか)など8箇所 市外・・・丸亀市(妙法寺ほか)など2箇所	5	番町や栗林公園など市街地を探訪した際には150名を超える多くの市民が参加し、市外開催の時でも雨天にもかかわらず熱心な参加があった。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・松島町(松島神社ほか)、屋島市(屋嶋城跡ほか)など7箇所 市外・・・三木町(三木茂資料館ほか)、志度町(地藏寺ほか)など3箇所	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
42	I	1	(3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	①高松城跡地久檜台石割り体験 ②勾玉づくり	①勾玉づくり 1部14組(親15名子20名)2部10組(親10名子16名)計61人 ②高松城跡地久檜台石割り体験 9組(親10名子10名)計20名 合計81名	5	夏休み・冬休みの行事として定着し、平成26年度は目標人数を達成したが、その年によって行事の内容が異なるため常に目標人数達成することは難しい。	①高松張子(ほうこうさん)を作ろう! ②城下町を歩こう! 目標70名	文化財課
43	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	(H26年度中5回開催予定) 「あなたに贈る愛の歌」5/17 「サクソフォンリサイタル」7/26 「歌いつごう日本の歌百選 秋編」10/18 「森田学バスリサイタル(仮)」12/20 「開館20周年記念コンサート 日本歌曲・ドイツ歌曲のタベ(仮)」3/21	(H26年度中5回開催) 「あなたに贈る愛の歌」5/17 「サクソフォンリサイタル」7/26 「親子で歌いつごう日本の歌百選 秋編」10/18 「森田学バスリサイタル」12/20 「開館20周年記念コンサート 日本歌曲リサイタル」3/21	5	入場者数が前年度と比べ増加しており、牟礼地区のコンサートとして定着している。	(H27年度中5回開催予定) 「オーボエ&チェンバロ」5/16 「DuOリサイタル」7/25 「日本の詩(仮)」10/17 「(題目未定)」12/19 「オペレッタの楽しみ(仮)」3/12	石の民俗資料館
44	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ振興事業団	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体力向上を図るため、88教室を実施し、延べ178,000人の参加を予定。	88教室 39,674人	4	実施教室数は微減ながら、参加者数は増加した。	市民の健康増進と体力向上を図るため、90教室を実施し、延べ40,000人の参加を予定。	スポーツ振興課
45	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民参加の機会として、小学校区対抗競技10種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンを実施する。	小学校区対抗競技9種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンinAJIを実施する	小学校区対抗競技 2,753人 水泳競技大会 290人 トリムの祭典 中止 AJIマラソン 1,265人 参加総数 9,488人	3	参加チームが減少し、参加者数が減少している。現在、見直しを実施している。	小学校区対抗競技12種目(3種目追加)、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンinAJIを実施する	スポーツ振興課
46	I	1	(4)	こんびら健脚大会	市	歩くことの意義を再確認し、足腰の鍛錬と健康増進を図るため、琴平高灯籠を目指して健脚大会を開催する。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く	参加者 50人	3	参加者へのアンケート調査の結果に基づき、26年度から歩行距離を短くしたが、生憎、前日の荒天により、参加者は例年の3分の1程度に留まった。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く 参加者 116人(4月29日に実施)	スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
47	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	市	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	仏生山公園等で歩く、踏む、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	参加者147人	4	25年度からコースを変更し、距離を短縮したが、例年通りの参加者数だった。	JR端岡駅から琴平高灯籠までの25kmを歩く(こんびら健脚大会)	
48	I	1	(4)	体育の日 スポーツ施設無料開放事業	市	体育の日にスポーツ施設を無料開放し、市民が気軽にスポーツに親しむ機会を提供する。	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	荒天のため、中止	-	-	有人施設を無料開放し、各競技団体に体験教室を実施してもらい、スポーツに親しむ機会を提供する。	スポーツ振興課
49	I III	1 1	(4) (1)	市民登山学校	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため。講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	のべ参加者数880人	3	例年通りの参加者数であった	月1回の講座と実技を実施する。	
50	I	1	(4)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業(再掲)(No.177)								
51	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 3,850千円×1か所)	私立保育所に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 3,850千円×1か所)	5	事業を実施した箇所数がH27年3月策定の「高松すくすく子育てプラン」において設定した数値に達したため	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6~7日開設 7,948千円×3か所 週5日開設 7,453千円×14か所 小規模型 2,598千円×2か所 (利用者支援事業5日型 6,732千円×1か所)	こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
52	I	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児および保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,422千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 5,580千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 保育緊急確保事業費補助金事業	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,512千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,648千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 保育緊急確保事業費補助金事業	5	事業を実施した箇所数がH27年3月策定の「高松すくすく子育てプラン」において設定した数値に達したため	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設 7,948千円×1か所 週5日開設 7,453千円×8か所 加算事業 1,361千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内 2,548千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 5,840千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,453千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	子育て支援課
53	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 23か所(直営) 合計39か所で実施	私立保育所 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 23か所(直営) 合計39か所で実施	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	私立保育所 19か所(委託料500千円/か所) 市立保育所 24か所(直営) 合計43か所で実施	こども園運営課
54	I	2	(1)	はじめてのパパママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行った。 16回、624人(うち夫311人)	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行った。 16回、624人(うち夫311人)	4	教室は、父親が出産後、育児参加ができるように、沐浴等、体験学習を中心に構成した。夫婦がお互いに、スムーズに育児ができる共通認識を持てたなど、参加者の満足度も高かった。	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	保健センター
55	I	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	市立小学校(就学時健康診断):49講座 市立小学校(入学説明会他):49講座 市立幼稚園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:11講座	小学校(就学時健診):50講座 小学校(入学説明会):48講座 市立幼稚園:30講座 市民グループ:4講座 参加者数:9,312人	4	市立幼稚園・小学校の協力により、概ね目標どおり講座を開設できた。	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園:30講座 私立幼稚園、市民グループ:13講座	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	2	(1)									
56	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	開催予定日:平成26年10月23日(木) 場所:生涯学習センター 講師:熊丸みつ子 演題:「(未定)」	開催日:平成26年10月23日(木) 場所:生涯学習センター 講師:熊丸みつ子 演題:「うちの子最高!今を生きる子どもたちへ伝えたい~親として、大人として、地域として~」 参加者数:110人	4	無事に事業を実施でき、講演会参加者も共催の市P連の声かけ等の協力もあり、多く集めることができたため。	開催日:平成27年10月24日(土) 場所:生涯学習センター 講師:徳倉康弘 演題:「父親であることを楽しんでますか(仮題)」	生涯学習課
57	I IV	2 1	(1) (1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成26年7月16日~31日 講師:安藤 美智子氏(あんどう発達クリニック小児神経内科) テーマ:「子どもの成長について(仮)」	放送期間:平成26年7月16日~31日 講師:安藤 美智子氏(あんどう発達クリニック小児神経内科) テーマ:「気になる子どもの行動~発達障害~」	4	予定通り実施できた。	放送期間:平成27年7月1日~15日 講師:太田 貴勝氏(日本赤十字社 香川県支部) テーマ:「災害に備えた家庭教育(仮)」	
58	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を目指す。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数28,600人を目指す。	4	講座参加人数は、目標に達しなかった。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数29,100人を目指す。	生涯学習センター
59	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本パックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図った。	4	成果が上がっているが、相談・受取拒否など難しい時代になっている。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	中央図書館
60	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	10か所実施	市立保育所 6か所 市立幼稚園 12か所 こども園 2か所 合計20か所実施	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため	15か所実施	こども園運営課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	2	(2)									
61	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配付を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配付を行った。286回 3,204人(4か月児相談のみ)	4	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行った。食育への関心を高めるための重要な事業であり、より効果的な啓発方法を検討していく必要がある。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料を配付する。また、紙芝居や絵本など食育媒体を使用して更なる食育の啓発を行う。	保健センター
62	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動ほか	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動 ・啓発チラシの配布(幼・保(3~5歳児)・小学校・中学校)	4	計画通り事業が実施できた。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	生涯学習課
63	I IV	2 1	(3) (3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:2,058件	5	相談件数は昨年度より増加しながら、高い問題解決率を保っている。また、相談対応による消費者被害の未然防止金額も前年度を上回った。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	地域政策課 くらし安全安心課
64	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時 相談延べ件数 152件	4	平成26年度においては、専門の子育て相談員が延152件の子育てに関する相談に応じた。 チラシ等で相談窓口について周知しているが、様々な機会を捉え、広く市民に相談窓口の周知を図っていく。	相談員 1人 相談時間 月曜日～金曜日 9時～16時	子ども女性相談室
65	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行った。 520回、7,397人	4	乳幼児の成長発達が確認でき、保護者には、育児相談や保護者同士の交流の場となっている。	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発育・栄養・育児等の相談を行う。	保健センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
66	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。 月～金8:30～19:00	5	いじめ相談には児童生徒や保護者等の声に、耳を傾け、学校との連携を図り、いじめの早期発見、早期対応をすることができた。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。 月～金8:30～19:00	学校教育課
67	I	2	(3)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレホン」を開設する。	相談件数 40件	相談件数 64件	5	それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。	相談件数 58件	少年育成センター
68	I	2	(3)	不登校等に関するカウンセラーによる教育相談事業	市(委託、直営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	カウンセラーによる相談の機会を増やすことで、相談体制を充実させる。	カウンセラーによる相談の機会を増やし、充実させたことで、目標を上回る実績を得ることができた。	4	目標を上回る実績を得ることができた。	カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。	総合教育センター
69	I	2	(3)	地域子育て支援拠点事業(再掲) (No. 5.1、5.2)								子育て支援課 こども関連各課
70	I	2	(3)	地域子育て推進事業(再掲) (No. 5.3)								こども関連各課
71	I	2	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業(再掲) (No. 8.9)								こども関連各課
72	III	2	(3)	少年相談員養成事業(再掲) (No. 1.9.9)								少年育成センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
73	I	3	(1) (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生(5校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校を5校選定し、子育て支援団体に委託し、実施する。	対象中学校を5校選定し、学年団全クラスの中学生を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、体験学習を行った。近隣の子育て支援団体に委託した上で、実施した。	5	平成23年度から開始し、毎年事業内容の拡充を続けている。子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを促進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。	中学生(7校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習および抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 対象校を7校選定し、子育て支援団体に委託し、実施する。	子育て支援課
74	I	3	(1)	保育所・幼稚園への芸術士派遣事業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	5	設定した目標を達成している	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	こども園運営課
75	I	3	(1)	学校巡回芸術・音楽教室	公益財団法人高松市文化芸術財団(委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	平成26年度においても洋楽・邦楽・雅楽等の鑑賞の機会を提供する。 音楽教室も、音楽・狂言・囃子教室を開催する。	全26校、10,062人が鑑賞した。	4	アンケートをとった全校で、次回も実施したいという意見をいただき、公演に満足していただいたため。	平成27年度においても歌、洋楽、邦楽、雅楽、バレエ等の鑑賞の機会を提供する。 音楽教室も、音楽・狂言・囃子教室を開催する。	文化芸術振興課
76	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供し、ものの大切さを体験する。	平成25年度と同様のメニューで開催する。	全18校22コースを実施した。	4	前年度より観覧者数が増え、毎年申込みして下さる学校も多いので、満足度は高いといえる。	洋裁、和裁、手芸、マスコットと人形の4コース、9メニューで実施する。 洋裁コース・・・コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 和裁コース・・・かわいい金魚、お手玉 手芸コース・・・メッセージボトル、スーパーストラップ、ティッシュ入れ マスコット人形コース・・・ウッドビーズ	文化芸術振興課
77	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	実施参加校15校を予定。	参加校18校、参加者数1,218人	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	改修工事のため未実施	美術館美術課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
78	I	3	(1)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図った。外部人材の平均活用人数:小中1校あたり、125.3人	4	総合的な学習の時間の活性化を図るため、予算内で積極的に地域社会の人材活用を図った。打ち合わせ等の時間が不十分などもあり、より『有効に活用するために、改善が必要である。	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	学校教育課
79	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	5	高松市立の小中学校が基本的に隔年で参加している。参加した小中学校の児童生徒及び教員・保護者は、他校の取組みを聞いたり、南部クリーンセンターの施設を見学したりすることで、環境への意識が向上した。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	
80	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水資源巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水資源巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水資源巡りの旅」を実施する。	5	「香川用水の水資源巡りの旅」当日の活動だけでなく、事前・事後の学習を行っており、本事業を通して、香川用水・水資源の重要性について生徒の意識が向上した。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水資源巡りの旅」を実施する。	学校教育課
81	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	5	児童生徒は、職場体験学習を通して、働くことの楽しさとともに大変さを実感することができ、職場体験発表会では、その思いを発表資料にまとめ、下級生に伝えることもできた。	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	
82	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取組みを紹介し、食の現状と課題への理解を深めるための「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施予定。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施。(7月20組、11月12組、3月12組参加)	5	調理場見学、収穫体験、料理教室を実施し、学校給食を中心とした食育の拠点となっている。今後、多くの希望者が参加できるよう検討していく。	高松市朝日新町学校給食センターで年3回(7月、11月、3月)実施予定。	保健体育課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	3	(1)									
83	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習を実施する。	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習を実施した。	4	サンクリスタル学習は定着しているが、参加校が目標値に届かなかったため。	小学校中・高学年を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・中央図書館での体験学習を実施する。	歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館
84	I	3	(1)	交通安全教室(再掲) (No.108)								地域政策課 くらし安全安心課
85	I I	3 1	(2) (2)	みんなで人権を考える会	市、高松市人権教育推進協議会人権尊重都市たかまつ市民会議(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	「みんなで人権を考える会2014」をサンポートホール高松で開催する。	H26.8.3に「みんなで人権を考える会2014」をサンポートホール高松で開催する予定であったが、台風で中止になった。	4	出演団体や内容をより工夫し、参加者を増やす取組が必要である。	「みんなで人権を考える会2015」を高松テルサで開催する。	人権教育課
86	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	30市立幼稚園、50小学校、23中学校で開催	30市立幼稚園、50小学校、24中学校で開催 延べ25,134名参加	4	すべての市立幼稚園、小中学校において開催できた。	5市こども園、25市立幼稚園、48小学校、23中学校で開催	
87	I	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物をテーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数:16回	4	実施回数は昨年度を下回ったものの、参加者数は増加した。また、事業実施後の感想文から理解度と満足度が高かったことが確認され、有効な啓発を行うことができた。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物をテーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	地域政策課 くらし安全安心課
88	I I III	3 4 1	(3) (3) (3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	33校区において実施。	放課後子ども教室を、32校区において実施した。	4	平成26年度は新たに2校区開設するなど、実施校区数を毎年着実に増やしており、放課後の子どもの健全育成に貢献している。	35校区において実施。	子育て支援課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	3	(3)									
89	I	3	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるような環境整備を行う。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施した。(園庭開放・子育て相談・ふれあい広場・体験入園・ふれあい運動会など)	5	設定した目標を達成している。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるような環境整備を行う。	こども園運営課
90	I	3	(3)	子ども動物愛護教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に放課後児童クラブ等において、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	夏休み中に放課後児童クラブ等に出向き、クイズやゲームを用いた動物愛護教室を実施する。	小学生1~4年生を対象とし、動物愛護学習シートを作成し、わかりやすい学習を目指した。実施回数:23回 受講人数:848人	5	前年度より受講者が増え、学習シートを使用して、子供でもわかりやすい講義を目指した。	放課後児童クラブへの出向に加えて、親子向けの教室も開催し、動物の正しい飼い方や接し方、動物愛護について普及啓発を実施する。	生活衛生課
91	I	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する。身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	利用者数44,077人	3	中学校体育館のバスケットライン修繕工事により、利用者が減少した。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する。身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行うとともに、中学校体育施設の開放事業のうち、体育館については利用率が高く飽和状態にあることから、新規の体育館等開放校数の拡大を図る。	スポーツ振興課
92	I	3	(3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	5	高松市内の全小中学校で実施された。この活動を通して、地域の方は、児童生徒の健やかな成長を地域をあげて取り組む必要性を再認識し、学校や児童・生徒は地域の方とあいさつを通して触れ合うことで、地域の方に見守られているということを実感することができた。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校教育課
93	I	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	学校評議員会を設置することで、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができた。	5	地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができたため。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
94	I	3	(3)	中学校運動部活動講師派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	外部指導者について、柔道3人、剣道8人、なぎなた1人を11校に派遣した。	5	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができた。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	保健体育課
95	I	3	(3)	青色パトロールによる巡回強化事業	市	視認性の高い青色回転灯を広報車に整備し、児童・生徒の安全確保を図るため、登下校時等に巡回活動を実施する。	青色回転灯付き公用車による巡回回数580件	青色回転灯付き公用車による巡回回数724件	5	通常ルートの登下校時等の巡回活動はもとより、危険性・緊急性の高い事案の発生した地域には臨時に巡回活動を実施した。	青色回転灯付き公用車による巡回回数580件	少年育成センター
96	I	3	(3)	総合的な学習の時間活性化推進事業(再掲) (No. 78)								学校教育課
97	I	3	(3)	P.T.A.地域活動促進事業(再掲) (No. 188)								生涯学習課
98	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,130人を目指す。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数719人であった。	3	講座参加人数は、目標に達しなかったが、高松大学等とも連携・協力しながら受講者の増加に向け、一層のPRに努める。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さを再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,150人を目指す。	生涯学習センター
99	I	4	(1) (1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,670人であった。	4	講座参加人数は、目標に達しなかった。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
100	I	4	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数770人を目指す。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数1,001人であった。	5	講座参加人数は、大幅に目標を上回った。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数785人を目指す。	生涯学習センター
101	I	4	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数1,038人であった。	5	講座参加人数は、大幅に目標を上回った。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	
102	I	4	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	鶺鴒神社(屋島西町)境内遺跡、稲荷山姫塚、空港跡地遺跡(亀の前地区)、屋嶋城跡城門跡など6遺跡程度を予定	鶺鴒神社境内遺跡(屋島西町)、稲荷山姫塚、空港跡地遺跡(亀の前地区)、屋嶋城跡城門遺構整備現場、地久櫓石垣整備現場の5遺跡で開催 延べ555人の参加者数であった	4	昨年度実績には届いていないが、公開が可能な発掘事業についてはすべて説明会を開催しており参加者の関心も高かった。	鶺鴒神社境内遺跡(屋島西町)、稲荷山北端1号墳、栗林田中遺跡、萩前一本木遺跡、屋嶋城跡城門遺構など6遺跡程度で開催が可能と見込まれる。	
103	I	4	(1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等について前年度に引き続いて実施。	市政ふれあい出前講座、市民グループや学校活動による史跡見学など 高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群ほかで実施 参加者数: 71件 2,871人(一般) 10件 359人(学校) 計 81件 3,230人	5	古代山城サミットのPR効果が高かった一昨年度にも増して屋嶋城跡城門遺構の見学希望が多かったほか、高松城跡、石清尾山古墳群についても見学希望者が多かったため、目標数を大きく上回った。	高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等について前年度に引き続いて実施。	文化財課
104	I	4	(1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	中・四国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	10月23日に芦屋市・神戸市ほか神戸文学館、谷崎潤一郎記念館、須賀教子ゆかりの地などを訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施した。	4	成果は上がっているが、実施時期や訪問先など、より多くの市民が参加したくなるような工夫が必要。	中四国を中心とした文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	菊池寛記念館
105	I	4	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を年10回、開催する。	文芸講座を10回開催した。	4	成果は上がっているが、目標人数に達してなく、より多くの市民が参加したくなるような工夫が必要。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	菊池寛記念館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
106	I	4	(1)	ふるさと探訪事業(再掲) (No. 41)								文化財課
107	I	4	(2)	節水など水に関する教育	市	「上下水道知ってトーク」を開催し、水環境についての理解と協力・意見交換を図るほか、節水など実践行動につなげるため、コミュニティセンター・学校等に出向き説明を行う。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会を見つけ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	年度初めに小学校等に案内し、「上下水道知ってトーク」を11回開催した。また、上下水道展を開催し、水の有効利用等を呼びかけた。	5	災害時等も含め、節水への意識が高まりっており、目標値を上回り、目標を達成している。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	水環境対策室 企業総務課
108	I I I	4 1 3	(2) (1) (1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を実施した。幼稚園、保育所、小中学校での交通安全教室の開催374回。高齢者等交通安全教室の開催953回。	5	高齢者運転免許証返納促進事業について、申請時に高齢者交通安全読本による意識づけ教室を行っているが、その件数が大幅に増加したため。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	交通安全対策室 くらし安全安心課
109	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる事業・施策、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、出向き説明および情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつをはじめ、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数、目標値を上回ることができた。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広聴広報課
110	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施した。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に努めており、アンケートでも満足度が高い。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施。	中央卸売市場業務課
111	I	4	(2)	自主防災組織等育成(資機材助成・自主防災力強化・自主防災訓練支援のための非常食の助成)事業	地域コミュニティ協議会	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行う。	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行い、未結成の地区校区に結成支援を行う。	コミュニティ協議会等と連携し、包括的自主防災組織を結成するほか、地域の実践的な防災訓練の支援・経費補助を行ったことで、26の地区校区から結成届が提出された。	5	設定した目標が達成された。	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、地区・校区での実践的な防災訓練の支援を行う。	予防課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	II	III									
112	I	4	(2)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	早明浦ダム周辺ボランティア清掃は、11月に実施し、公募市民78名を含む181名が参加した。	5	公募参加者数が公募応募人数を大幅に超えており、目標を十分に達成している。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	企業総務課
113	I	4	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲) (No. 175)								生涯学習課
114	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達の増進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	利用人数 52,000人	利用人数 63,176人	5	利用人数は目標値を上回っており、子どもの健全育成と子育て中の保護者の居場所づくりに貢献している。	利用人数 55,000人	子育て支援課
115	I	4	(3)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体(補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	団体数 5団体	団体数・・・5団体 参加人数・・・100人 ①第39回マイシアター高松高学年キャンプ～夏休みサバイバルキャンプ～ ②竹でメッセージボードを作ろう ③なわ×なわジャンプ! Vol.5～なわとびの楽しさ無限大!～ ④和の食文化を見直そう!『みそ作り』調理体験 ⑤ココカラ通信社	4	昨年度から引き続き活動をしている団体に加えて、新たな団体からの申請も加わり、目標どおり実施できた。	団体数・・・5団体	生涯学習課
116	I	4	(3)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日:平成27年2月1日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催日:平成27年2月1日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館、新番丁小学校運動場 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか) 参加人数:6,000人	4	予定どおり開催できた。	開催予定日:平成28年2月7日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	III										
117	I	III	4 1 (3) (3)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催予定日:平成26年9月7日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	開催日:平成26年9月7日(日) 開催場所:高松市西部運動センター 男子:18校区 女子:15校区	4	目標値には届かなかったが、予定通り開催できた。	開催予定日:平成27年9月6日(日) 開催場所:高松市西部運動センター 参加者が増えるよう、各種会等で開催案内を行う。	
118	I	III	4 1 (3) (3)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子どもの交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成26年11月29日~11月30日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催予定日:平成26年11月29日~11月30日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 参加者数:48人 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	4	予定通り開催できた。アンケートの結果、9割が楽しかったとの評価であった。	開催予定日:平成27年11月28日~11月29日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	生涯学習課
119	I	III	4 1 (3) (3)	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	市内10校区12農園	市内9校区13農園	4	目標値には近かったものの、通算で見ると年度によってばらつきがあり、安定した目標達成に近づいていないため。	市内12校区17農園	
120	I	I	4 5 (3) (3)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鋳造・瓦製作体験学習を行う。	鋳造・瓦製作体験学習 その他体験学習行事 (夏休み体験学習新規開催予定)	親子体験講座 土器の旅(全3回)、子ども体験講座「勾玉を作ろう」など7講座の開催と団体利用1件を受け入れ、延べ397人の参加を得た。夏休みに、新たに城下町のまち歩き講座を開設した。 また、夏休みを中心に体験講座の派遣要請も多かった(出前講座に算入)。	5	主催講座、出前講座ともに参加者数は大幅に増加した。主催講座、四番丁スクエア内の他施設との連携講座等を積極的に開催しており、今後も継続して実施したい。	鋳造・瓦製作体験学習 その他体験学習行事 (夏休み体験学習新規開催予定)	文化財課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	4	(3)									
121	I	4	(3)	香南歴史民俗郷土館工作教室	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども工作教室を開催する。	H26年度11講座開催予定 企画展関連講演会「船のお話」7/21、 「ミニ土偶を作ろう」7/24、 「親子布ぞうり教室」7/26、 「化石のレプリカを作ろう」7/27、 「勾玉を作ろう」8/1、「化石のクリーニング」8/3、「土鈴を作ろう」8/6、 「プリザーブドフラワー教室」8/9、 「『しんかい』プラモをつくろう!」8/10、 「土笛を作ろう」8/12、 「縄文コースターをつくろう」8/19	H26年度11講座開催 企画展関連講演会「海上保安官の船のお仕事」7/27、「ミニ土偶を作ろう」7/24、 「親子布ぞうり教室」7/26、 「化石のレプリカを作ろう」7/27、 「勾玉を作ろう」8/1、「化石のクリーニング」8/24、「土鈴を作ろう」8/6、 「プリザーブドフラワー教室」8/16、 「深海艇プラモをつくろう!」8/31、「土笛を作ろう」8/12、 「縄文コースターをつくろう」8/19	5	26年度は企画展に合わせて集客力がある講座を開催できた。	H27年度9講座開催予定 企画展関連講座「寺子屋で学ぼうⅠ・寺子屋体験」7/20、「ミニ埴輪を作ろう」7/23、企画展関連講座「寺子屋で学ぼうⅡ・手習草子」7/25、「勾玉を作ろう」7/31、「化石のレプリカを作ろう」8/2、「土笛を作ろう」8/5、企画展関連講座「親子お手玉教室」8/8、「化石のクリーニング」8/9、「土鈴を作ろう」8/14	香南歴史民俗郷土館
122	I	4	(8)	放課後子ども教室(再掲) (No. 88)								子育て支援課
123	I	4	(8)	子ども動物愛護教室(再掲) (No. 90)								生活衛生課
124	I	4	(3)	親子文化財教室(再掲) (No. 42)								文化財課
125	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	3	計画どおり実施した。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	生涯学習センター
126	I	5	(1)	センター利用促進事業(再掲) (No. 99)								生涯学習センター
127	I	5	(1)	まなびCAN・CSR教室(再掲) (No. 100)								生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

No.	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	1	5	()									
128			(1)	他団体との連携事業(再掲) (No. 101)								生涯学習センター
129	I	5	(2)	コミュニティセンター整備事業	市	コミュニティセンターの改築について、現施設の有効活用を基本とした中期整備指針を策定し、これに基づき実施する。	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②十河コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ③国分寺南コミュニティセンター耐震化改修工事 ④西植田コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ⑤東植田コミュニティセンターの耐震化に伴う工事実施設計 ⑥木太コミュニティセンター耐震化に伴う基本設計	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②国分寺南部コミュニティセンター耐震化改修工事 ③西植田コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計 ④東植田コミュニティセンターの耐震化に伴う工事実施設計 ⑤木太コミュニティセンター耐震化に伴う基本設計	4	林コミュニティセンター耐震化改築工事、西植田コミュニティセンター耐震化に伴う実施設計、東植田コミュニティセンター耐震化に伴う工事実施設計、木太コミュニティセンター耐震化に伴う基本設計は一部27年度へ繰越したため	①林コミュニティセンター耐震化改築工事 ②西植田コミュニティセンター耐震補強・改修工事 ③国分寺南部コミュニティセンター附属建物改修工事 ④東植田コミュニティセンター耐震化改築工事 ⑤木太コミュニティセンター耐震化改築実施設計 ⑥太田コミュニティセンター改築基本設計 ⑦川岡コミュニティセンター改築基本設計	地域政策課
130			(2)	コミュニティセンター講座(再掲) (No. 18)								
131			(2)	高齢者教室(再掲) (No. 19)								
132			(2)	女性教室(再掲) (No. 20)								生涯学習センター
133			(2)	コミュニティセンター同好会事業(再掲) (No. 170)								
134			(2)	生涯学習推進員養成研修(再掲) (No. 192)								

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
135	I	5	(2)	コミュニティーセンターだよりの発行(再掲) (No. 222)								
136	I	5	(2)	コミュニティーセンター等パソコン講習会(再掲) (No. 236)								生涯学習センター
137	I	5	(3)	エコホテルの利用促進事業	市	南部クリーンセンターの施設見学、親子リサイクル工作会、環境パネル・インターネット情報提供を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学 体験学習事業(紙すき等) 親子リサイクル工作会・施設見学会等自主企画事業 年13回 施設紹介・分別収集啓発用パンフ印刷・配付 インターネット等情報提供事業 エコホテル体験学習業務委託(コラボレーション事業) パネルの展示 	概ね、計画内容どおりに実施、開催をした。	3	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学者の減少 施設見学の内容が、同じもので実施されているので、例えば、年齢層別に合わせた内容を工夫するなど検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設見学、体験学習事業(紙すき等) 施設紹介・分別収集啓発用パンフレットの印刷及び配布 夏休み親子工作会予定日:7/21、7/28、7/30、8/7、8/10、8/12 夏休み親子見学会予定日:7/22、7/29、7/31(2回)、8/3、8/11 	南部クリーンセンター
138	I	5	(3)	特別展・常設展等展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカルチャーなど幅広いジャンルをバランスよく企画し、特別展・常設展を開催する。	特別展11回、常設展7回の実施を予定。	実施回数 特別展12回、常設展7回 特別展参加者数44,697人 常設展参加者数21,135人	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	改修工事のため、市内文化施設にて特別展4回を実施予定。	
139	I IV	5 1	(3) (2)	瀬戸内アートネットワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、県内主要美術館で、共通パンフレットの作成、入館割引やスタンプラリーを実施する。	スタンプラリーを実施する。	スタンプラリー応募者数403名	4	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。	改修工事のため未実施。	美術館美術課
140	I	5	(3)	子どものアトリエ事業	市	展覧会関連事業として、表現の可能性を楽しんでもらう美術講座「子どものアトリエ」を開催する。	子どものアトリエを実施する。	実施回数3回 参加者数49人	3	目標値に届かなかったため。	改修工事期間中に実施する特別展でギャラリートークを実施する。	

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	I	5	(3)									
141	I	5	(3)	アートで遊ぼう! (鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう!」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	アートで遊ぼうを実施する。	実施回数3回 参加者数10人	3	目標値に届かなかったため。	改修工事期間中に実施する特別展でギャラリートークを実施する。	美術館美術課
142	I	5	(3)	企画展・常設展等 展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示・企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、企画展「再発見! 桃太郎の世界」、「船と鉄道」、「輝きの備前の名刀展」、「屋島展」、収蔵品展「高松市の商店街史」、6回のロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、企画展「再発見! 桃太郎の世界」、「船と鉄道〜四国の玄関口・高松の交通機関史〜」、「輝きの備前の名刀展」、史跡・天然記念物屋島指定80周年記念企画展「屋島ーシンボリックな大地に刻まれた歴史ー」、収蔵品展「あま商店街〜高松アーケード・メモリー」、6回のロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開した。	5	史跡天然記念物屋島指定80周年記念企画展や地元商店街の歴史を紹介する企画展を開催したため。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「れきしに出会うII」、企画展「源平合戦展」、「日本初の医学士ー神内由己とその時代」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	歴史資料館
143	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会 (補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	第23回文学展「怖くて不思議な文学」を開催し、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	菊池寛記念館第23回文学展「怖くて不思議な文学展」を開催した。	5	これまでの作家紹介の展示ではなく、夏休みに合わせたテーマで文学展を開催したため。	菊池寛記念館第24回文学展「没後99年 夏目漱石ー漱石山房の日々ー」を開催し、文学への理解と関心を高める機会を提供する。	菊池寛記念館
144	I	5	(3)	図書館等資料整備 事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,228,000円)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,174,648円)	5	予算執行率が約100%であり、計画的な執行ができた。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (89,212,000円)	中央図書館
145	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館と、直島町2ステーションを含む89ステーションに巡回サービスを実施。 160,000冊	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館の利用が困難な郊外地域87ステーションと、瀬戸・高松広域定住自立圏の直島町2ステーションに巡回サービスを実施した。 148,307冊	4	成果が上がっているが、ステーションの見直しが必要である。	移動図書館車3台で、中央図書館、地域館、分館と、直島町2ステーションを含む89ステーションに巡回サービスを実施。 160,000冊	中央図書館
146	I	5	(9)	高松テル分文化 教育・研修事業(再 掲) (No. 13)								産業振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	Ⅰ	Ⅱ	(3)									
147	Ⅰ	5	(3)	埋蔵文化財センター体験学習(再掲)(No.119)								文化財課
148	Ⅰ	6	(3)	本のソムリエ派遣事業(再掲)(No.21)								中央図書館
149	Ⅱ	1	(1)	ゆめづくり推進事業	市	地域コミュニティとして、地域課題の解決・改善につながり他地域のモデルとなる事業に補助金を交付する。	事業提案のあった、26の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	事業提案のあった、26の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付した。	4	事業未実施の2地区が事業を行い、平成26年度末現在で残り4地区が事業未実施となっている。	事業提案のあった24の地域コミュニティ協議会に対し、補助金を交付する。	地域政策課
150	Ⅱ	1	(1)	地域コミュニティまちづくり活動支援事業	市	コミュニティプランを策定した地区(校区)に対し、地域コミュニティ組織の運営および事業計画策定の会議等経費を補助金として交付する。	評価不可(H25で事業終了)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	
151	Ⅱ	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	課題テーマと自由テーマを合わせて、年2回、企画提案を募集し、書類審査、プレゼンテーション審査を行った上、委託事業・補助事業を実施する。	委託事業5件 補助事業2件	4	前年度より実施事業数は減少したが、審査基準を厳しくし、より効果が高いと認められた事業を採択できた。	課題テーマと自由テーマを合わせて、年2回、企画提案を募集し、書類審査、プレゼンテーション審査を行った上、委託事業・補助事業を実施する。	市民協働推進室
152	Ⅱ	1	(1)	「食育」で心と体いきいき事業	各種団体(委託)	地域の食育を推進するため、各種団体から事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	地域の食育を推進するため、各種団体から、テーマに基づいた事業提案を募集し、採択事業を委託実施する。	課題テーマを設定し、各種団体から事業提案を募集し、応募のあった7団体のうち、事業採択された5団体が事業を実施した。 1:野菜をたっぷり食べるためには 2:子どもの食習慣、ここが問題委託団体数 1:3団体 2:2団体	3	団体が提案する事業という点で、独自性があり、地域に根差した取組であるものの、事業への応募団体数、団体が実施する事業への参加者数等が減少傾向にある。	平成19年度から実施している事業であり、平成26年度まで、延べ75団体が地域に根差した食育活動の推進を実施してきた。更なる食育の推進を図るために、平成26年度をもって終了し、他事業へ展開する。	保健センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	II	I	(2)									
153	II	I	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 ガイド事業を継続させるためにも、新人会員の育成も重点的に取り組む。	新人会員の育成については、ベテラン会員との意見交換会を設け、相談事や今後の方針について新しい意見を聞きとった。新人会員の中には、27年度になり他の部会を兼務するなど、積極的にガイドする会員が育ち、意見交換会を設けたことへの効果が感じられた。	3	ガイド依頼件数は前年度に比べ増加。新人会員の育成も成果が感じられた。しかし、会員の高齢化が目立っており、ガイド事業を継続するためにも後継者の育成に力を入れるべき。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	観光交流課
154	II	I	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	開催特別展のギャラリートークを実施する。	実施回数37回 参加者数623人	3	目標値に届かなかったため。	改修工事期間中に実施する特別展でギャラリートークを実施する。	美術館美術課
155	II	I	(2)	市民の学習成果発表の場提供事業	市	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を22講座開催した。	5	講座回数は、大幅に目標を上回った。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を10講座開催する。	
156	II	I	(2)	生涯学習センター遊友塾	市	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援する。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数851人であった。	3	講座参加人数は、H25年度よりは増加したものの目標に達しなかった。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	生涯学習センター
157	II	I	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数608人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数560人を目指す。	
158	II	I	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーターを募集し、サポーター数の増加を図る。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行った。	4	新規募集をしなかったため。27年度は募集を実施予定。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	II	2	(1)									
159	II	1	(2)	よみきがせたい」 派遣事業(再掲) (No. 200)								中央図書館
160	II	2	(1)	市民活動センター 事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	コラボたかまつの発行・配信による情報発信。まちづくり学校「地域づくりチャレンジ塾」の開催による人材育成及び、「みんなの文化祭」開催による成果発表と連携の機会づくり。プレゼンテーション講座、NPO実践マネジメント講座等の学習機会の提供。防災とボランティア展の開催による啓発。	5	NPOに関連した特色ある講座を実施。また、まちづくり学校実行委員会と高松市市民活動センターの協働により、「地域チャレンジ塾」を通じた地域の担い手となる人材育成事業を行い、十分な成果を上げた。	コトデン瓦町ビル内での市民活動センター学習の場拡充による各種講座の充実。まちづくり学校との協働による事業を通じた、地域の担い手となる人材育成を行うとともに、各種講座の実施によるスキルアップを図る。	市民協働推進室
161	II I	2 1	(1) (1)	市民グループ学習 支援事業	市	自発的な学習意欲を持つ市民団体を公募し、女性の資質・能力の向上や家庭教育に関する学習活動を助成する。	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:5団体	4	概ね達成できた。	・女性教室実施団体数:5団体 ・家庭教育学級実施団体数:6団体	生涯学習課
162	II	2	(1)	早明浦ダム周辺ボ ランティア清掃事 業(再掲) (No. 112)								企業総務課
163	II	2	(2)	大学等との連携事 業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	包括協定を締結している大学との連携事業及び、地(知)の拠点整備事業を推進する。また、新たな大学との包括協定の締結を検討する。	地(知)の拠点整備事業の取組のほか、市長と学長・校長との懇談会を開催し、大学との連携強化を図った。また、百十四銀行との連携協力に関する協定を締結し、新たな事業に取り組んだ。	4	更に、多様な主体との連携のあり方を検討する必要がある。	引き続き、本市の行政課題の解決を図るため、金融機関など地域の多様な主体との連携を検討する。	政策課
164	II	2	(2)	シルバー人材セン ター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大し、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	長寿福祉課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	II	2	(2)									
165	II	2	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	15か所のため池で実施予定	15か所のため池で実施	4	地元の活動組織体制が整えば新たな取り組みが実施できる。	16か所のため池で実施予定。	土地改良課
166	II III	2 2	(2) (1)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	リピーターとなっている参加者を確保しているガイドもいる等、一部のガイドの質の向上が見受けられた。しかしながら、ガイド自身が主体性を持っているとは言える状況ではなく、全体的にマンネリ傾向にあると感じられる。	3	まち歩き参加者数については例年と変わらないが、一部のガイドにおいて、県外の常連客を確保している点では、観光客誘致の目標をクリアできていると考えられる。しかしながら、毎回変化のない同じ内容が多いため、ガイド自身の主体性の向上が目標とされる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	観光交流課
167	II	2	(2)	NPO等の活用による環境学習活動(再掲)(No. 12)								環境保全推進課
168	II	2	(2)	知的障害者青年教室(再掲)(No. 16)								生涯学習課
169	III	1	(1)	老人大学事業 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講する。 高松いきいき	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の老人大学を開講した。 高松いきいき	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっている。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	長寿福祉課
170	III I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行った。	3	計画どおり実施した。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	生涯学習センター
171	III	1	(1)	市民登山学校(再掲)(No. 49)								スポーツ振興課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
172	III	1 (2)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催した。	5	予定通り事業が実施され、また設定した目標が達成されているため	高松市男女共同参画センター登録団体が中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月に開催する。	男女共同参画推進室
173	III	1 (2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	市民活動団体、地域コミュニティ協議会等49団体と高松市中央高校、中央図書館、消防局が連携し、ともにつくりあげる文化祭「みんなの文化祭」を開催。各団体の発表の場を設けるとともに、団体同士のネットワーク構築を図った。	5	市民活動団体と地域コミュニティ協議会等が、ともに文化祭をつくりあげることによって、情報交換や連携がうまれ、互いの活動について認識し合えることができた。また、自分たちの活動を発表する場ともなり、活動のPRにつながった。	昨年度のふり返りを活かして、市民活動団体をはじめ多くの市民が参加し、ともにつくり、つながる「みんなの文化祭」として充実するよう、まちづくり学校との協働を充実させる。	市民協働推進室
174	III	1 (2)	子ども未来ネットワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・情報交換の場として、部門別会議や座談会を開催し、連携・協働を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回)	「部門別会議」 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 「座談会」2回	4	部門別において、ほぼ計画通りであったが、子育てサークル部門は参加希望者が1か所しかなかったため開催ができなかった。	子育て支援事業を実施する団体ごとのネットワークを構築する部門別会議を開催する。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) ・子育てサークル等(2回)	子育て支援課
175	III I IV	1 4 1 (2)	家庭・地域の教育力向上推進事業	市	家庭・地域の教育力向上を図るため結集した協議体を核に、家庭教育・子育て情報の発信のほか、先行事例モデル地域でのワークショップ・座談会、報告会等を開催する。	・ネットワーク会議(推進委員会)の開催:4回 ・子育て新聞の発行:2回 ・モデル地域でのワークショップ:2地域各4回 ・最終報告会の開催	・ネットワーク会議(推進委員会)の開催:3回(40人) ・子育て新聞の発行:2回(9月・3月) ・モデル地域でのワークショップ:2地域各4回(94人) ・最終報告会の開催(婦人団体・コミュニティ協議会・PTA・子ども会・生涯学習推進員)	4	地域及び団体の協力により予定どおり開催できた。	事業廃止 新規事業:「子どもを中心にした地域交流事業」を展開する。	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	III	I	(3)									
176	III	I	(3)	掃除教育「びかぴかデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齢者等から掃除の仕方を学びながら清掃活動・心の教育を行う。	(こども園課・学校教育課) 幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	(こども園課・学校教育課) 幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行った。 幼稚園100% 小学校100%	5	市内全ての幼稚園・小学校において、事業を実施し、十分な成果を得ることができた。	(こども園課・学校教育課) 幼稚園・小学校において、地域の高齢者や祖父母、保護者など様々な方から、掃除の仕方を学びながら、清掃活動・心の教育を行う。	こども園運営課 学校教育課
177	III	I	(3)	地域密着型トップスポーツチーム交流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	419回 29,330人	4	カマタマーレ讃岐がJ2に昇格したこと等が要因となり、回数・参加数は増加している。	地域密着型トップスポーツチームとの交流・連携を図るため、スポーツ教室やスクールガード等を実施する。	スポーツ振興課
178	III	I	(3)	放課後子ども教室(再掲) (No. 88)								子育て支援課
179	III	I	(3)	スマイルあいさつ運動(再掲) (No. 92)								学校教育課
180	III	I	(3)	新春子どもフェスティバル(再掲) (No. 116)								
181	III	I	(3)	子ども会フットベースボール大会(再掲) (No. 117)								生涯学習課
182	III	I	(3)	こども農園事業(再掲) (No. 119)								
183	III	I	(3)	子どもわくわく体験支援事業(再掲) (No. 115)								

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	Ⅰ	(3)									
184	Ⅲ	Ⅰ	(3)	高松・嶺北子ども交歓会(再掲) (No.118)								生涯学習課
185	Ⅲ	Ⅱ	(1)	地域コミュニティ人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域のリーダー養成を目的とした人材養成事業を実施する。	地域コミュニティ人材養成事業 平成26年2月下旬 テーマ、講師 未定	平成27年2月21日(土) 地域コミュニティ人材養成事業 基調講演『地域コミュニティ協議会ができること・やるべきこと』 首都大学東京 教授 大杉 寛	5	300人以上の参加があり、参加者に対するアンケート結果がいずれも好評であった。	地域コミュニティ人材養成事業 平成28年2月下旬 テーマ、講師 未定	地域政策課
186	Ⅲ	Ⅱ	(1)	地域防災リーダー育成セミナー	市	防災に関する基本知識・技能を有する人材育成のため、意欲ある市民を対象に、防災に関する各専門分野の講師によるセミナーを開催する。	7月5日(土)午後、7月12日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	実施計画のとおり 7月5日(土)7月12日(土)午後の2日間で開催した。	5	当初予定していた参加者数を上回る人数の受講があり、計画どおりセミナーを開催し、地域の防災リーダーの育成に努めた。	7月4日(土)午後、7月11日(土)午後の2日間で、セミナーを開催する。	危機管理課
187	Ⅲ	Ⅱ	(1)	認知症サポーター養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい知識を持ち、地域で認知症高齢者等や家族を支援するサポーターを養成し、安心して暮らせる地域づくりの担い手を増やす。	認知症について正しく知り、偏見を持たず、認知症の人やその家族を暖かく見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する。 認知症サポーター養成人数:5,000人養成	認知症サポーター養成人数 6,100人	5	目標人数を上回ったため、目標は達成されている。	参加人数 目標は5,000人 ①見守り協定を結ぶ企業に働きかけ参加団体を増やす。 ②講座受講後地域で認知症対策に取り組めるよう、フォローアップ講座を開催する。	地域包括支援センター
188	Ⅲ Ⅰ	Ⅱ Ⅲ	(1) (3)	PTA地域活動促進事業	市	PTA連絡協議会への活動を支援し、子どもの安全の確保のための不審者情報や健全育成情報等のメール配信を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信事業の補助金を支出(運営事業:6月、10月 メール配信事業:6月)	5	予定通り助成した。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、メール配信運営事業の補助金の交付	生涯学習課
189	Ⅲ	Ⅱ	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付	高松市子ども会育成連絡協議会へ補助金を支出(6月、10月)	5	予定通り助成した。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金の交付	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	III	2	(1)									
190	III	2	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を旨とし自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	青年活動の振興を旨とし自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。また、成人式スタッフ等の参加を通して、市青連の会員数を更に増やしていく。	H26年度高松市青年連絡協議会運営事業補助金の交付 香川県青年問題研究会等への参加	4	予定通り、助成した。 また、新規加入者もあったことから。	青年活動の振興を旨とし自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。また、成人式スタッフ等の参加を通して、市青連の会員数を更に増やしていく。	生涯学習課
191	III	2	(1)	指導者のためのセミナー	市	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進するため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催する。	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進のため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催し、講座参加人数80人を目指す。	香川県が開催する研修会と重複するため、実施しなかった。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	生涯学習センター
192	III I	2 5	(1) (2)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数430人を目指す。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数462人であった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数450人を目指す。	生涯学習センター
193	III	2	(1)	地域における人権啓発推進事業(再掲) (No. 25)								人権啓発課
194	III	2	(1)	まちかど漫遊帖事業(再掲) (No. 166)								観光交流課
195	III IV	2 1	(2) (1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。 また、26年度は瀬戸内海国立公園指定80周年であるため、瀬戸内海の環境保全について学ぶ講座を実施する。	事業計画に従い、環境ワークショップ(館内講座)環境学習支援事業(出前事業)を実施した。 また、26年度瀬戸内海国立公園指定80周年であるため、瀬戸内海の環境保全について学ぶ機会・干潟の観察会などの講座を実施した。	4	多岐に渡る事業を実施しており、特に瀬戸内海の環境保全について学ぶ講座を実施するなどにより、昨年度より参加者数は増加したが、目標値には達しなかった。	環境保全推進課分室を活用した環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップ(館内講座)の実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	環境保全推進課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	2	(2)									
196	Ⅲ	2	(2)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少、少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	既存の幼年・少年消防クラブの活性化ならびに拡充に取組み、火災予防意識の啓発を行ったことで幼年クラブが54クラブに、少年クラブが19クラブになった。	5	設定した目標が達成されている等、十分成果が上がっている。	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	予防課
197	Ⅲ	2	(2)	子ども会育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回:新役員講習会 平成26年5月11日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 平成26年7月12日(土) 高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 第3回:ジュニアリーダー研修会 平成26年8月23日(土)~24日(日) 香川県青年センター 第4回:育成会指導者講習会 平成26年10月18日(土) 高松中央卸売市場 第5回:リーダー研修会 平成27年2月14日(土)~15日(日) 島根県三瓶青少年交流の家	第1回:新役員講習会 参加者数:109人 第2回:リーダー研修会 参加者数:58名 第3回:ジュニアリーダー研修会 参加者数:37人 第4回:育成会指導者講習会 参加者数:54人 第5回:リーダー研修会 参加者数:48人	4	予定通り開催できた。	第1回:新役員講習会 平成27年5月17日(日) 塩江セカンドステージ 第2回:リーダー研修会 平成27年7月18日(土) 高知県香南市「YASU海の駅クラブ」 第3回:ジュニアリーダー研修会 開催日:未定 生涯学習センター 第4回:育成会指導者講習会 開催日:未定 開催場所:未定 第5回:リーダー研修会 開催日:未定 開催場所:未定	生涯学習課
198	Ⅲ	2	(2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間:30時間	派遣時間:19時間 派遣回数:10回	3	予定時間に達することができなかったため。	派遣予定時間:30時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報する。	
199	Ⅲ I	2 2	(2) (3)	少年相談員養成事業	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	相談員配置校区数 100人 40校区	相談員配置校区数 114人 37校区	4	相談員の未配置校区が存在する。	相談員配置校区数 120人 40校区	少年育成センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系		事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	III	2									
200	III	2 (2)	よみきかせたいJr派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を3回実施した。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を3回実施した。	4	隊員数は増加しており、図書館内のイベントで活発に活動している。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみきかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	中央図書館
201	III	2 (2)	年長児童の赤ちゃん・出会い・ふれあい事業(再掲)(No. 73)								子育て支援課
202	III	2 (2)	成人式典事業(再掲)(No. 15)								生涯学習課
203	III	3 (1)	文書管理体制再構築事業	市	歴史公文書等を適切に保存し、市民の利用に供することができるよう市の文書管理体制の再構築を図る。	公文書館整備 歴史公文書等選別	公文書館整備 歴史公文書等選別	3	公文書館の整備が完了し、選別が終了した高松市、旧牟礼町、旧国分寺町の一部の歴史公文書等の利用提供を開始した。ただし、旧国分寺町の残り、旧香南町、旧塩江町、旧香川町、旧庵治町の歴史公文書等の選別が次年度以降に持ち越しとなった。	(平成27年度以降は公文書館管理運営)	総務課
204	III	3 (1)	こども未来館(仮称)整備事業	市	市民文化センター本館跡地に、子どもを主体とした、子どものための施策、事業を実施し、子どもを中心として幅広い世代の人々が交流できる施設として、「こども未来館(仮称)」を整備する。	事業プログラムや運営体制の検討を進めるとともに、建築・展示設計を終え、事業費を積算し、補正予算議決後、入札・契約を行い、工事に着手する。	施設整備については、5月末に建築と展示設計を取りまとめ、9月補正で整備関係予算を措置して10月に入札、契約議案を12月議会に提出し1月に着工した。事業等の検討については、事業プログラム案の策定を行うとともに、校外学習活動について、教育委員会の協力を得ながら、実施計画を策定した。	4	工事契約等施設整備についてはほぼ計画どおりに進捗した。事業等の検討についてはワークショップの開催が平成27年度に延期になるなど一部計画に遅れがでた。	建設工事、展示物製作、プラネタリウムの設置等を行うとともに、開館に向け、イベント等を実施しながら、スタッフの体制整備や業務マニュアルの作成を行うなど、28年11月の開館に向け準備を進める。	こども未来館整備室

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	3	(1)									
205	Ⅲ	3	(1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	基本構想・実施設計業務 用地取得	基本構想・実施設計業務 用地取得	3	実施設計に若干の遅れがあった。	実施設計 建設工事	スポーツ振興課
206	Ⅲ	3	(1)	ヨット競技場再整備事業	市	老朽化施設を改修し、マリンスポーツを通し健康増進・相互交流・利便性の向上、競技選手の育成等を図る。	実施設計	実施設計業務	3	実施設計に若干の遅れがあった。	実施設計業務 建設工事	
207	Ⅲ	3	(1)	屋島陸上競技場再整備事業	市	東讃地域で唯一の公認陸上競技場である現施設の老朽度、施設・設備の整備状況等を踏まえ、基本構想・計画に基づき再整備する。	建設工事発注 H28中の竣工	進捗状況については、概ね工程表のとおり出来ている。	3	メインスタンド上部躯体工事に若干の遅れがあった。	H28中の竣工	
208	Ⅲ	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	日本の現代美術や讃岐漆芸などの作品を収集する。	収集点数10点	5	設定した目標を達成している。	日本の現代美術や讃岐漆芸などの作品を収集する。	美術館美術課
209	Ⅲ	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	5	資料収集、保存管理等の作業が順調に進められたため。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか
210	Ⅲ	3	(1)	菊池寛遺品整理・収集	市	郷土の偉大な文化人で文壇の隆盛の礎を築いた菊池寛の功績と名誉を顕彰するため、遺品収集・整理等を行う。	菊池寛記念館収蔵資料目録を刊行する。	菊池寛記念館収蔵資料目録を発行し、関係者に配布した。	5	資料目録を作成し、すべての資料を公開できるようになったため。		菊池寛記念館
211	Ⅲ	3	(1)	収蔵品システム運営事業(再掲) (No. 240)								歴史資料館ほか

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	Ⅲ	3	(2)									
212	Ⅲ	3	(2)	菊池寛およびその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。実施率100%	4	実施率は100%であるが、自己の生き方を考える学習においてさらなる工夫ができると思われる学校もある。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	学校教育課
213	Ⅲ	3	(2)	屋島城城門遺構整備事業	市	屋島城城門遺構を復元し、屋島山上の観光資源、古代の歴史を体感できる生涯学習資源として活用できるよう整備する。	屋島城城門遺構(城門跡北側石垣)整備工事を実施 現地説明会開催(1回) その他見学希望団体対応 サンクriday屋島学習受入	屋島城城門遺構(城門跡北側石垣及び門道)積み直し工事を実施した。 現地説明会1回 80人参加 見学希望団体案内 42団体及び個人 1,320人	5	整備工事をほぼ計画通りに実施し、現場見学希望者にもできる限り対応して史跡整備の過程や重要さについてアピールできた。団体数で前年度の倍増、見学者数は前年度比14%減の1,320人であった。	屋島城城門遺構周辺環境整備工事を実施 屋島城跡公開活用のためにARアプリ、整備過程の映像番組の制作 現地説明会開催(1~2回) 整備完成記念式典の開催 その他見学希望団体対応 サンクriday屋島学習受入	文化財課
214	Ⅲ	3	(2)	民具資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館等施設での民具展示、出前講座等を行う。	歴史資料館ロビー等での民具の展示「手仕事のニッポン」、「幸福をもたらす七神」、「郷土玩具で日本を知る」	4	出前講座の申込みが当初予想より少なかったため。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	
215	Ⅲ	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催した。	5	講座受講者が増加しており、市民への教育普及活動が図られているため。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	歴史資料館
216	Ⅲ	3	(2)	夏休みに郷土高松の歴史を探ろう	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として「栗林公園の歴史を探ろう！」を実施予定。(7/31・8/2開催)	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として「栗林公園の歴史を探ろう！」を実施した。(2回参加者33人)	4	夏休みの自由研究として定着してきているが、目標値には届かなかったため。	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、資料提供や助言等支援する。	
217	Ⅳ	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報をはじめ、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できていた。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	広聴広報課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	IV	1	(1)									
218	IV	1	(1)	広報たかまつによる情報提供	市	生涯学習情報をはじめ始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	「広報たかまつ」を、月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できている。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	広聴広報課
219	IV	1	(1)	子育て支援総合情報発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」10,000部増刷(情報修正含む) 母子健康手帳交付時に配布するほか、子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 また、マップ検索機能を追加している。平成26年度からは、スマホ対応機能を追加した。 年間アクセス件数 3,627,022件 月平均アクセス件数 302,251件 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの構築	4	昨年と同様、子育てハンドブックを10,000冊増刷し、ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行ったため。	○子育て支援総合情報サイト「らっこネット」からのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	子育て支援課
220	IV	1	(1)	公共施設利用総合情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業、および利用者への各種情報提供を行う。	計画通り行えた。	5	計画通り行えた。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	スポーツ振興課
221	IV	1	(1)	子ども向けホームページ「きっずの森」情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋)	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載について、広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋し、随時更新した	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント等の情報、他課でのイベントなどから抜粋)	生涯学習課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	IV	I	(1) (2)									
222	IV	I	5	コミュニティセンターだよりの発行	コミュニティ協議会	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介した。	4	計画どおり実施した。	各コミュニティセンターで発行している「コミュニティセンターだより」において、コミュニティセンター等で開催する講座・行事等の学習情報のほか、地域の学校関係情報など多彩な情報を紹介する。	生涯学習センター
223	IV	I	1	まなびCANだより「まなびかんづめ」の発行	市	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、15ヶ所に配布する。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布した。	5	計画どおり実施した。	生涯学習センターで開催される講座等の学習情報を紹介する情報誌「まなびかんづめ」を毎月発行し、19ヶ所に配布する。	
224	IV	I	1	環境学習・環境教育の推進事業(再掲) (No. 195)								環境保全推進課
225	IV	I	1	多文化共生事業(再掲) (No. 29)								都市交流室
226	IV	I	1	家庭教育情報テレビ事業(再掲) (No. 57)								生涯学習課
227	IV	I	2	地域コミュニティ協議会情報発信事業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」を運営する。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。 また、さらに使いやすいサイトにするため、現在、リニューアルを検討している。	市民・地域コミュニティ協議会・行政が双方から情報収集・発信・ネットワーク形成できる情報拠点として、ポータルサイト「コミねっと高松」をリニューアルした上で運営した。	5	情報の更新も頻繁に行うことができ、積極的な情報発信ができた。	引き続き、地域情報の情報拠点として活用していく。	地域政策課

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価(1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	IV	1	(2)									
228	IV	1	(2)	市民活動センター情報発信事業	市	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、NPO等団体の情報を収集・発信する。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、市民活動団体や団体の活動に関する情報(イベント、助成等)を収集・発信した。	5	当該サイトの登録団体数は増加し、情報の発信が広がっているため。	市民活動センターホームページ「ふらっと高松」において、市民活動団体の情報を収集・発信する。	市民協働推進室
229	IV	1	(2)	まなびCANホームページ情報発信事業	市	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信した。	3	計画どおり実施した。	まなびCANのホームページで講座の募集情報・施設情報・お知らせ・インターネット塾など各種生涯学習情報を発信する。	生涯学習センター
230	IV	1	(2)	瀬戸内アートネットワーク事業(再掲)(No. 139)								美術館芸術課
231	IV	1	(2)	家庭・地域の教育力向上推進事業(再掲)(No. 175)								生涯学習課
232	IV	1	(3)	生涯学習センター等の学習相談事業	市	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	システム開発ができなかったため、体制ができていないが、市民やコミュニティセンター職員からの学習相談に、窓口・電話・Eメールで臨機応変に対応した。	4	システム開発ができなかったため、相談件数を計測できなかった。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	生涯学習センター
233	IV	1	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	4	計画どおり実施した。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名
	IV	1	(3)									
234	IV	1	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	5	利用者からの問合せ・調査は概ね回答できた。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	中央図書館
235	IV	1	(3)	消費生活相談事業 (再掲) (No. 63)								地域福祉課 市民安全安心課
236	IV I	2 5	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進した。	5	計画どおり実施した。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センター
237	IV	2	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	情報モラルの保護者啓発資料を時代に即した改定を行い、学校での研修や家庭における利用を図る。	情報モラルの保護者啓発資料を改訂し、小学6年～中学3年の全保護者及びPTA役員等に配布し、家庭での情報モラル教育の推進を図った。	4	計画に沿って、啓発資料の改定を行い、小学6年～中学3年の全保護者及びPTA役員等に配布し、家庭での情報モラル教育の推進が図れた。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布を、新6年生及び保護者に配布し、意識の拡大・継承を図る。	総合教育センター
238	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数448人であった。	5	登録回数は、目標を上回った。	広報たかまつ発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	生涯学習センター
239	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで8講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで6講座公開した。	3	講座回数は、目標に達しなかった。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで8講座公開する。	生涯学習センター

いきいき高松まなびプランⅢ(高松市生涯学習基本計画)に基づく取組事業推進状況一覧表

* 施策体系が2つ以上あるものは、2段目以降は再掲分

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	26事業内容(計画)	26事業内容(実績)	これまでの評価 (1~5を入力してください)	評価の理由	27事業内容(計画)	課名									
	IV	III	(2) (1)																		
240	IV	2	(2)	取藏品システム運営事業	市	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の取藏品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の取藏品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の取藏品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。 登録件数:135,069件 アクセス数:18,643回	5	未整理資料の整理が進むとともに、本市HPからシステムへアクセスしやすい環境づくりをしたため。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館などネットワーク施設の取藏品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館ほか									
241	IV	2	(2)										図書のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	5	予約件数は目標を上回った。	図書館利用者カードを持っている方は、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができる。	中央図書館
242	IV	2	(2)										新しいメディアの活用	市	「メルマガもつと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	生涯学習課主催及び共催事業等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報発信を行った。	4	必要な情報を配信することができた。	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	関係各課